

しじら織使い涼しく

阿波しじら織が使われた作品を着て歩くモデル―北島町のフジグラン北島



北島でコンテテスト

徳島県特産の阿波しじら織を使った女性用クルビズのデザインコンテストが23日、北島町鯛浜のフジグラン北島であり、藍住町住吉の服飾デザイナー岡久献司さん(27)の作品が最優秀賞に選ばれた。

徳島市の国府町商工会が、阿波しじら織の消費拡大を目的に開催。この日は、藤村俊治会長ら7人が、全国から寄せられた85点のうち2012年10月の1次審査を通過した10点を最終審査した。

ファッションショー形式で行われ、1階の特設ステージでは涼しげなブラウスやジャケットを身にまとったモデルが次々と登場、買い物客も足を止めて見入っていた。

最優秀賞の岡久さんは、縦じまが入った白い生地でチュニックを制作。「徳島の伝統を盛り上げたかった。すごくうれしい」と喜んでいた。最終審査に残った10点は、国府町商工会が今夏に向けて商品化する。

(川辺健太)